

雨漏りなどの修繕を

26年度に予算計上



もり しろ 議員

査費114万円が組まれているが、中途半端なものではなく、高額になっても後十年ぐらいいは何か手を加えなくても良いような完全な修繕にすべきではないか。

答 畦地教育次長

問 あかつき館は平成10年の開館から15年が過ぎ、館内の天井、壁に雨漏りの染みや黒カビが目立ち、屋上のコンクリートにも裂け目が入っている。排水が十分にできていないせいか外の白壁には黒い筋の様なものもある。また、「非常口とホールがカビ臭い」など住民の声を聞くと、何か抜本的な対策をすべきではないか。指定管理者になってから企画展等に工夫が凝らされ、利用者も増え、来館者が気持ちよく利用できるような改修が望まれる。今議会に修繕調

指摘のように雨漏り、外壁の汚れ、コンクリートのひび割れ等の修繕を要する箇所が多くある。カビ臭いのは利用されない期間、ホールを締め切る事による管理上の問題も多少あると思う。本年度から指定管理者になり、一生懸命頑張つて色々な企画を立てることで入場者は確かに増えている。雨漏りがひどくなる事で蔵書だけでなく、上林暁関係の貴重な歴史的資料の損傷も考えられる事からも改修工事実施設計委託予算を計上した。その結果をもって平成26

年度に予算計上し、早期に改修を行いたい。

児童公園

安全安心の
トイレを
県へ要望を
上げる

問 平成23年9月議会で錦野児童公園入口の進入路の拡張とトイレの改修の質問をした。拡張工事は平成24年度末に完成し、地区住民一同が感謝している。

答 森下産業推進室長

整備については拡幅とトイレの改修をセットで、都市防災総合推進事業を進めてきて、平成24年度に進入路拡幅は完了した。

では改築に取り組むという事であったが、予算の関係でトイレの改築の話は頓挫したままになっている。早い時期に完成できるように取り組むべきだ。

トイレは同補助事業対象にならず改築に至らなかった。バリアフリーとか児童公園の要件や防災時のトイレは一番格安の見積もりで1700万円、防災機能を十分に備えたと3千万円と高額になり、老朽化や災害時一時避難場所の指定の公園となっている事から、補助事業を調査して県へ要望を上げ協議して対応したい。

問題はトイレで、昭和53年12月開設で照明は無く、女性用1基（戸は修繕しながら使っているような現状）、男性用3基の耐用年数は十二分に過ぎている。災害発生時には地区内外より多くの住民が避難される指定場所、自然現象は誰にも止められないものだ。特に弱者、女性の方には安全安心なトイレが必要である。障がい者用1基、女性用4〜5基と照明、災害避難時を重点的に考え断水を想定し汲み取り式にする等の設備で、平成23年9月議会の答弁



補修が待たれる大方あかつき館